

徳本光香の一般質問 (2021 年 11 月 29 日)

「桜台小中給食」と「文化センター」の今後は？ 2つのあり方検討会に問題あり

白井市には今、「桜台小中学校の自校式給食」と「白井市文化センター」の今後を考える2つの検討委員会が置かれています。市が選んだ専門家や市民の委員が、給食施設や文化施設を残すか無くすか、どう改修するかを話し合っています。しかし、2つのあり方検討委員会を傍聴し、進行や公平性の問題を感じました。白井の未来のため、施設をなくす前提ではなく、どう生かすかを、公平な情報を元に深く話し合ってもらいたいです。



白井の今の給食事情

白井の給食方式は2種類

小中全14校のうち12校は給食センター方式で、桜台小中は学校の調理場で作られる自校方式給食です。

桜台の住民の想いは自校式存続

桜台小中学校PTAの保護者アンケートで、回答者の74.6%が自校式給食の給食センター統合に反対。市は給食センター設立時は桜台給食を入れられない方針でしたが、事前説明もなく急にセンター統合案を出し、保護者の理解を得られませんでした。市は結論を保留し、検討会に意見を求めています。

桜台給食のあり方検討会 7つの問題

- ① 市のセンター統合の思惑を反映
 - ・地元の反対表明に、市がセンター統合を断念せず設立
 - ・会の目的にある「給食の効率的な提供」=センター統合？
- ② 財政面に偏った資料と議論
 - ・専門家は経費削減のみ強調し、収入増加案は1つも出さず
 - ・給食センターへの出費や多量の食べ残しの議論はなし
- ③ 桜台と他の地区の住民感情を分断
 - ・桜台給食への出費に否定的意見多く、メリットを話づらい
- ④ 1年以上、「食育」の知識共有や議論をせず
 - ・給食の議論に必要な「食育」「学校給食法」を知る時間もなし
- ⑤ 給食の主役である子ども達の意見を聞いていない
 - ※徳本が前教育部長に要望したが却下
- ⑥ 委員長が食育の議論や提案を何度も却下
 - ・委員長が「食育を話す場ではない」と発言
 - ・「給食=教育=食育」の認識すらなく進行している可能性大
- ⑦ 自校式給食に不利な市民アンケート内容
 - ・センターでなく桜台給食への出費の額が際立つ内容
 - ・自校式に有利な食育は、差がなく見える数値を掲載

センター統合ありきでは？

市は、他の提案があれば検討会で検討してもらおうと回答。しかし検討会は、市が5.5億円と試算した親子式調理場の「新設」案より格段に安く効率的な「増設」案を、なぜか検討もせずに却下してしまいました。



本当に不公平な出費ですか？

市が旧共同調理場を安く最新設備にできる改修案を採用せず新設した給食センターに、15年間で67.4億円も払うのを知っていますか？財源は桜台も含めた市民の税金です。検討会では、桜台の給食に税金をかけるのは不公平という意見が出ていますが、給食センターにかかる莫大な出費への視点が抜け落ちています。

67.4
億円



将来財政難になるというなら給食センターも一因では…？

質問に答えると不都合？

私が「真の市民自治をめざす市長は、地域の人の意見や願いを重視する気持ちがありますか」という質問を3度しましたが、市長は3度とも聞いていないことを答えました。また「自校式給食を給食センターに統合したい市の方針を、検討会の委員に伝えましたか」という質問にも、部長は2度とも論点をずらし、答えず。私が1時間で聞いた30の質問に、まっすぐ答えた答弁は半分だけでした。けれど、「話をそらし答えない」という様子から、本音を想像することができます。

？



食育調査に協力拒否！

白井市民が大学の研究として行った千葉県内の給食調査に対し、なぜか教育委員会は回答を拒否。調理員の学校訪問数など食育の実情を調べ、白井の給食にも役立つ研究なのに、信じられません。